

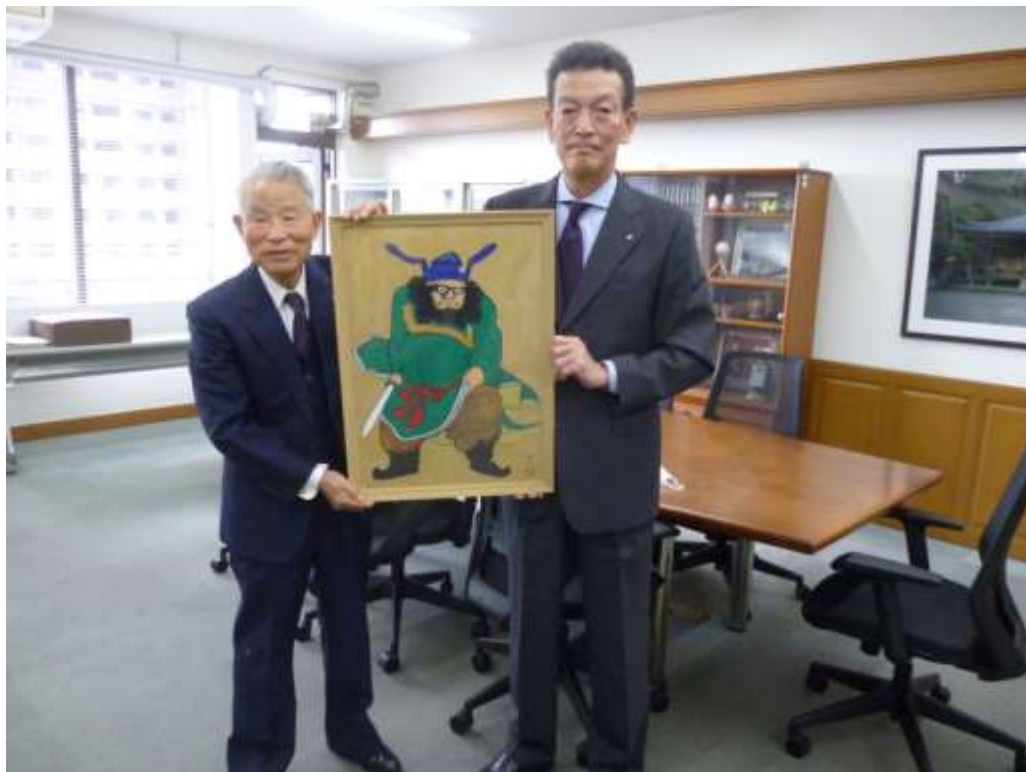
大分県教育委員会に日本画を寄贈

毎年、自遊展に日本画をご出品していただいています宮森智久大先輩(大学4回)がこのほど大分県教育委員会に日本画を寄贈されました。

同窓生 岡本天津男さん(大学32回)の県教育長就任を祝い、そのご活躍を祈念するもので、12月17日、教育長室でわたされました。

画題は、中国で魔よけの霊力をもつ神様と言われる「鐘馗」とし、新型コロナウイルスを防ぎ、追い払うとの思いを込め、約1か月かけて完成させた力作です。

岡本教育長は、そのご配慮に感謝の言葉を述べ、教育長室に展示したいとのことでした。



宮森大先輩は、今年88歳を迎えられ、別府市日本画協会会長として、やさしい日本画の普及に努めておられます。

この会の「やさしい日本画教室」の生徒さんは約70人にも上るそうであり、皆様方にも、趣味や生きがいとして、ぜひ日本画を描いてもらいたいとのことでした。